

【 記 入 ・ 提 出 要 領 】

○調査票：国費外国人留学生（高等専門学校留学生）等の受入可能数調査

※ 提出部数 1 部（該当がない場合もその旨記入し提出すること）

※ 本調査では、平成 23 年 4 月に 3 年次編入学する国費外国人留学生（高等専門学校留学生）及び平成 22 年 4 月に 3 年次編入学するマレーシア政府派遣留学生を対象としている。

1. セルの書式は変更しないこと。また、セル内の改行、多量のスペースの挿入は行わないこと。（ただし、行数を増やすこと、行の高さを適切に変えること、必要なセルを結合することは差し支えない。）
2. 行数が不足する場合は、必ず新たに行を挿入して記入すること。（別シートに記入するなど表を複数に分けないこと。）
3. 留学生の受入れが可能な学科についてのみ記入すること。
4. 「高専コード」欄には、ホームページ掲載の学校番号（高専）を記入すること。
5. 「専門項目等」欄には、以下から該当する分野等を記入例のとおり記入すること。

分野（番号のみ記入）	専門項目等		
(1) 機械	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① 機械要素・材料加工                      ② 材料科学・力学                      ③ 流体・熱工学                      ④ 機械システム設計・制御                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑤ CAD/CAM                      ⑥ マトロクス                      ⑦ ロボット工学                 </td> </tr> </table>	① 機械要素・材料加工 ② 材料科学・力学 ③ 流体・熱工学 ④ 機械システム設計・制御	⑤ CAD/CAM ⑥ マトロクス ⑦ ロボット工学
① 機械要素・材料加工 ② 材料科学・力学 ③ 流体・熱工学 ④ 機械システム設計・制御	⑤ CAD/CAM ⑥ マトロクス ⑦ ロボット工学		
(2) 電気・電子	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① アナログ回路                      ② 電力システム                      ③ パワーエレクトロニクス                      ④ デジタル回路                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑤ 集積回路                      ⑥ 電気・電子材料                      ⑦ 電気・電子機器                      ⑧ 電気・電子制御                 </td> </tr> </table>	① アナログ回路 ② 電力システム ③ パワーエレクトロニクス ④ デジタル回路	⑤ 集積回路 ⑥ 電気・電子材料 ⑦ 電気・電子機器 ⑧ 電気・電子制御
① アナログ回路 ② 電力システム ③ パワーエレクトロニクス ④ デジタル回路	⑤ 集積回路 ⑥ 電気・電子材料 ⑦ 電気・電子機器 ⑧ 電気・電子制御		
(3) 情報・通信・ネットワーク	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① 信号・画像処理                      ② 有線通信                      ③ 無線通信                      ④ 情報通信                      ⑤ 衛星通信                      ⑥ マイクロ波                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑦ ソフトウェア工学                      ⑧ コンピュータグラフィクス                      ⑨ オペレーティングシステム                      ⑩ 周辺機器とインターフェース技術                      ⑪ コンピュータネットワーク                      ⑫ 通信制御                 </td> </tr> </table>	① 信号・画像処理 ② 有線通信 ③ 無線通信 ④ 情報通信 ⑤ 衛星通信 ⑥ マイクロ波	⑦ ソフトウェア工学 ⑧ コンピュータグラフィクス ⑨ オペレーティングシステム ⑩ 周辺機器とインターフェース技術 ⑪ コンピュータネットワーク ⑫ 通信制御
① 信号・画像処理 ② 有線通信 ③ 無線通信 ④ 情報通信 ⑤ 衛星通信 ⑥ マイクロ波	⑦ ソフトウェア工学 ⑧ コンピュータグラフィクス ⑨ オペレーティングシステム ⑩ 周辺機器とインターフェース技術 ⑪ コンピュータネットワーク ⑫ 通信制御		
(4) 物質・材料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ① 金属工学                      ② 無機材料工学                      ③ 有機材料工学                      ④ 高分子化学                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑤ 化学工学                      ⑥ 生物化学                      ⑦ 生物工学                      ⑧ 環境工学                 </td> </tr> </table>	① 金属工学 ② 無機材料工学 ③ 有機材料工学 ④ 高分子化学	⑤ 化学工学 ⑥ 生物化学 ⑦ 生物工学 ⑧ 環境工学
① 金属工学 ② 無機材料工学 ③ 有機材料工学 ④ 高分子化学	⑤ 化学工学 ⑥ 生物化学 ⑦ 生物工学 ⑧ 環境工学		

分野（番号のみ記入）	専門項目等										
(5) 建築・土木	<table border="0"> <tr> <td>① 建築設計</td> <td>⑥ 土木材料・施工</td> </tr> <tr> <td>② 建築構造</td> <td>⑦ 測量</td> </tr> <tr> <td>③ 建築材料・施工</td> <td>⑧ 水理学</td> </tr> <tr> <td>④ 建築史</td> <td>⑨ 地盤工学</td> </tr> <tr> <td>⑤ 構造力学</td> <td>⑩ 都市計画</td> </tr> </table>	① 建築設計	⑥ 土木材料・施工	② 建築構造	⑦ 測量	③ 建築材料・施工	⑧ 水理学	④ 建築史	⑨ 地盤工学	⑤ 構造力学	⑩ 都市計画
① 建築設計	⑥ 土木材料・施工										
② 建築構造	⑦ 測量										
③ 建築材料・施工	⑧ 水理学										
④ 建築史	⑨ 地盤工学										
⑤ 構造力学	⑩ 都市計画										
(6) 商船	<table border="0"> <tr> <td>① 航法</td> <td>⑥ 造船学</td> </tr> <tr> <td>② 測位</td> <td>⑦ ティーセル機関</td> </tr> <tr> <td>③ 操船学・運用学</td> <td>⑧ 船舶補機</td> </tr> <tr> <td>④ 海洋・気象学</td> <td>⑨ 船舶材料</td> </tr> <tr> <td>⑤ 海法</td> <td></td> </tr> </table>	① 航法	⑥ 造船学	② 測位	⑦ ティーセル機関	③ 操船学・運用学	⑧ 船舶補機	④ 海洋・気象学	⑨ 船舶材料	⑤ 海法	
① 航法	⑥ 造船学										
② 測位	⑦ ティーセル機関										
③ 操船学・運用学	⑧ 船舶補機										
④ 海洋・気象学	⑨ 船舶材料										
⑤ 海法											
(7) その他	<table border="0"> <tr> <td>① 国際コミュニケーション</td> <td>③ その他（具体的に）</td> </tr> <tr> <td>② 経営情報工学</td> <td></td> </tr> </table>	① 国際コミュニケーション	③ その他（具体的に）	② 経営情報工学							
① 国際コミュニケーション	③ その他（具体的に）										
② 経営情報工学											

※1 専門項目等は、全く同一名称でなくとも内容が同一と思われるものを記入すること。

※2 各学科で分野が複数ある場合は同一のセル内に全てを記入すること。その際、セル内改行は行わないこと。

6. 「受入可能数」欄には、各学科ごとの受入れ可能数を記入すること。

7. 「内訳」欄には、受入留学生の区分に従って「受入可能数」の内訳を記入すること。受入予定が無い場合は「0」と記入すること。

8. 「高専全体の受入れ可能数」欄には、各学科ごとの受入可能数を考慮した上で、高専全体として受入可能な数を記入すること。

9. 「女子受入可否」及び「女子寮設置の有無」欄には、「○」又は「×」のいずれかを記入すること。

10. 「備考」欄には、特記する事項を記入すること。

【提出について】 提出期限：平成21年6月5日（金）まで

●公文書による提出（封筒には朱書きで「高専受入調査」XXXXXX(高専コード)）。

及び

●調査票のデータを添付ファイルで [ryuugaku@mext.go.jp](mailto:ryuugaku@mext.go.jp) 宛て送信。

なお、メールの件名及びデータ名は必ず「XXXXXX（高専コード）〇〇高専（高専受入調査）」とすること。